

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|---|------|
| 4559 | バグ | 解決 | C++用のCMakeLists.txtのテンプレートに含まれているfind_package(OpenRTM) を削除する | |
| 4144 | バグ | 終了 | ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映 | |
| 4143 | バグ | 終了 | ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映 | |
| 4145 | バグ | 終了 | ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映 | |
| 3704 | バグ | 担当 | ECにアタッチされたRTCが即座に追加されないためACTIVATE時に適切に遷移しない問題 | |
| 3977 | バグ | 終了 | IDLファイルのコンパイルが実行されずインクルードファイルのエラーが発生する問題 | |
| 4016 | バグ | 終了 | imageprocessingのdebパッケージにopencvの依存関係を追記する | |
| 4567 | バグ | 解決 | Java版のRTC生成時にパッケージエクスプローラーからJREシステム・ライブラリー、参照ライブラリが消える | |
| 4212 | バグ | 担当 | Java版のStart RTC daemon(windows)が動作しない | |
| 4375 | バグ | 担当 | Linuxのサンプルコンポーネントが動作しない | |
| 4263 | バグ | 担当 | Manager::create_component()でclassファイルを検索する機能をOFFにする機能 | |
| 4422 | バグ | 終了 | NamingOnCorbaコンストラクタに渡すORBの参照カウントの問題 | |
| 4464 | バグ | 終了 | omniINSPOAでのオブジェクト非アクティブ化 | |
| 4520 | バグ | 解決 | OpenRTM-aist-Pythonのmsm生成時、rtcprof_python.batが含まれないようにする | |
| 4126 | バグ | 終了 | OpenRTPのAll in one パッケージ作成時のエラー処理を確認する | |
| 4523 | バグ | 解決 | OpenRTPの設定でRtcBuilder->Code Generate->Documentを選択すると「変更を受け入れられません」という画面が出る | |
| 4513 | バグ | 終了 | ownedのECのProfileのowner属性にRTCのリファレンスを代入する。 | |
| 4555 | バグ | 解決 | RPM build errors: Empty %files file debugsourcefiles.list への対応 | |
| 4488 | バグ | 解決 | RTCBuilderでC++言語を指定した場合にRTCを生成できない | |
| 4388 | バグ | 担当 | rtcd_java エラーがでる(Linux) | |
| 4389 | バグ | 担当 | rtcprof_java を引数なしで実行すると "dirname: オペランドがありません" の表示がでる。 | |
| 4566 | バグ | 解決 | RTC生成時にパッケージエクスプローラーにソースコードが表示されない | |
| 4115 | バグ | 終了 | RTC間の接続線が描画されないことがある | |
| 4024 | バグ | 終了 | sdo.service.consumer.enabled_service、sdo.service.provider.enabled_serviceの設定項目 | |
| 4026 | バグ | 終了 | sdo.service.consumer.enabled_service、sdo.service.provider.enabled_serviceをenabled_servicesに修正する | |
| 4201 | バグ | 解決 | VisualStudioソリューションファイル生成時のヘッダーの設定を正しくする | |
| 4350 | バグ | 担当 | windowsでマスターマネージャーからjavaのRTCを起動できない。 | |
| 4518 | バグ | 解決 | コネクタが切断される | |
| 4470 | バグ | 終了 | サブスクリプション型がnewの場合に処理が停止することがある問題 | |
| 4473 | バグ | 終了 | サブスクリプション型がnewの場合に動作が停止する可能性がある | |

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|---|------|
| 4624 | バグ | 新規 | システムダイアグラム上のRTCが消えない、OpenRTPが固まる | |
| 4509 | バグ | 終了 | スレーブマネージャ起動時にmanager.modules.load_pathを¥で区切った場合に¥が消える | |
| 4623 | バグ | 解決 | ネームサーバー起動ボタンを押した時に起動済みのネームサーバーが終了しない | |
| 4453 | バグ | 担当 | プログラムが終了しない | |
| 4625 | バグ | 新規 | ポートを接続したはずなのにシステムダイアグラム上で接続されていないように表示される | |
| 4483 | バグ | 新規 | マスターマネージャからC++のコンポーネントを起動できない。 | |
| 4020 | バグ | 終了 | モジュールカテゴリの最後の文字が消える | |
| 4195 | バグ | 担当 | モジュールロードパスを複数設定した場合の不具合 | |
| 4618 | バグ | 担当 | 実行コンテキストが停止状態にも関わらず動作し続ける | |
| 4261 | バグ | 担当 | 実行周期を変更してもonRateChangedコールバックが呼び出されない問題 | |
| 3760 | バグ | 終了 | 意味のない例外処理を削除する | |
| 4521 | バグ | 解決 | 英語環境で Basic 画面に文字化けがある | |
| 4462 | バグ | 終了 | 複合コンポーネントの子コンポーネントをexitするとプロセスが異常終了することがある | |
| 3601 | 機能 | 終了 | C++のRTC作成用テンプレートにDEB/RPMパッケージ作成機能を追加する | |
| 4450 | 機能 | 終了 | ComponentObserverConsumer モジュールをデフォルトで本体ライブラリに組み込む | |
| 4517 | 機能 | 終了 | ComponentObserverからデータポートの入出力を通知するイベントを発行する | |
| 4516 | 機能 | 終了 | ComponentObserverからデータポートの入出力を通知するイベントを発行する | |
| 3712 | 機能 | 終了 | CPU affinityを設定する機能を追加する。 | |
| 3713 | 機能 | 終了 | CPU affinityを設定する機能を追加する。 | |
| 4150 | 機能 | 終了 | create_componentで指定したRTCが起動済みの場合にRTCのインスタンスを返す | |
| 4190 | 機能 | 担当 | create_componentで指定したRTCが起動済みの場合にRTCのインスタンスを返す | |
| 4149 | 機能 | 終了 | create_componentで指定するidの変更 | |
| 4189 | 機能 | 担当 | create_componentで指定するidの変更 | |
| 3242 | 機能 | 新規 | Direct型のデータポートにコールバック機能を実装する | |
| 3432 | 機能 | 新規 | ECスレッドを実行するCPUを固定する機能の実装 | |
| 4445 | 機能 | 担当 | manager.components.preconnect の形式を変更 | |
| 4484 | 機能 | 新規 | manager.modules.<lang>.load_pathsをデフォルトで空白にする | |
| 4031 | 機能 | 終了 | manager_nameに指定が無い場合にmanager_<プロセス番号>でスレーブマネージャを起動する | |
| 4187 | 機能 | 担当 | manager_nameに指定が無い場合にmanager_<プロセス番号>でスレーブマネージャを起動する | |
| 3889 | 機能 | 終了 | OpenRTMConfig.cmakeでrtmCameraとrtmManipulatorもリンクライブラリに加える | |
| 3898 | 機能 | 終了 | RTC Builderが生成するソースファイルの文字コードを「BOM付UTF-8」にする | |
| 4127 | 機能 | 終了 | RTCのプロパティにマネージャ名を設定する | |
| 4128 | 機能 | 終了 | RTCのプロパティにマネージャ名を設定する | |

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|---|------|
| 3385 | 機能 | 担当 | コンポーネント操作関数セットの実装 | |
| 3270 | 機能 | 終了 | コンポーネント操作関数セットの実装 | |
| 3386 | 機能 | 担当 | ネームサービス操作関数セットの実装 | |
| 3271 | 機能 | 終了 | ネームサービス操作関数セットの実装 | |
| 3387 | 機能 | 担当 | コンポーネント起動時に事前設定に従いポート同士を接続する機能（同一プロセス） | |
| 3388 | 機能 | 担当 | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（同一プロセス） | |
| 3389 | 機能 | 担当 | コンポーネント起動時に事前設定に従い起動時にポート同士を接続する（非同プロセス） | |
| 3262 | 機能 | 終了 | 起動時にポート同士を接続する（非同プロセス） | |
| 3390 | 機能 | 担当 | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（非同プロセス） | |
| 3391 | 機能 | 担当 | トピックベースのポート接続機能 | |
| 3263 | 機能 | 終了 | トピックベースのポート接続機能 | |
| 3392 | 機能 | 担当 | ダイレクトデータポート接続機能 | |
| 3264 | 機能 | 新規 | ダイレクトデータポート接続機能 | |
| 3393 | 機能 | 担当 | サービスポートのダイレクト接続機能 | |
| 3265 | 機能 | 終了 | セキュアな通信機能 | |
| 3395 | 機能 | 担当 | 共有メモリ型データポート接続機能 | |
| 3269 | 機能 | 終了 | 共有メモリ型データポート接続機能 | |
| 3396 | 機能 | 担当 | 名前ベースのコンポーネント指定方法の実装 | |
| 3272 | 機能 | 終了 | 名前ベースのコンポーネント指定方法の実装 | |
| 3397 | 機能 | 担当 | 名前付けポリシー機能の拡張 | |
| 3273 | 機能 | 終了 | 名前付けポリシー機能の拡張 | |
| 3398 | 機能 | 担当 | スレーブマネージャの名前によるグルーピング | |
| 3274 | 機能 | 終了 | スレーブマネージャの名前によるグルーピング | |
| 4500 | 機能 | 解決 | アイコンの作成 | |
| 4528 | 機能 | 解決 | アイコンの作成（その2） | |
| 4529 | 機能 | 解決 | アイコンの作成（その2） | |
| 4107 | 機能 | 終了 | スレーブマネージャがマスターマネージャが存在するか定期的に確認する機能 | |
| 4203 | 機能 | 担当 | マスターマネージャから多言語のRTC(スレーブマネージャ)が起動できる | |
| 4030 | 機能 | 終了 | モジュールロード時のエラーを取得できるようにする | |
| 4186 | 機能 | 担当 | モジュールロード時のエラーを取得できるようにする | |
| 4507 | 機能 | 終了 | 一度rtcpofでプロファイルの取得に失敗したモジュールは、次にgetLoadableModulesが呼ばれた時にはプロファイルの取得を行わないようにする | |
| 4508 | 機能 | 終了 | 一度rtcpofでプロファイルの取得に失敗したモジュールは、次にgetLoadableModulesが呼ばれた時にはプロファイルの取得を行わないようにする | |
| 3225 | 機能 | 担当 | 同一プロセスのコンポーネント間のデータポート接続で、データ転送をダイレクトに行うようにする | |

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|--|------|
| 3224 | 機能 | 解決 | 同一プロセスのコンポーネント間のデータポート接続で、データ転送をダイレクトに行うようにする | |
| 4118 | 機能 | 終了 | 同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する | |
| 4117 | 機能 | 終了 | 同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する | |
| 4119 | 機能 | 終了 | 同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する | |
| 3404 | 機能 | 終了 | コンポーネント起動時に事前設定に従い起動時にポート同士を接続する（非同ープロセス） | 20.0 |
| 3405 | 機能 | 終了 | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（非同ープロセス） | 20.0 |
| 3400 | 機能 | 終了 | コンポーネント操作関数セットの実装 | 30.0 |
| 3401 | 機能 | 終了 | ネームサービス操作関数セットの実装 | 30.0 |
| 3402 | 機能 | 終了 | コンポーネント起動時に事前設定に従いポート同士を接続する機能（同一プロセス） | 30.0 |
| 3403 | 機能 | 終了 | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（同一プロセス） | 30.0 |
| 3406 | 機能 | 終了 | トピックベースのポート接続機能 | 30.0 |
| 3407 | 機能 | 終了 | ダイレクトデータポート接続機能 | 30.0 |
| 3408 | 機能 | 終了 | サービスポートのダイレクト接続機能 | 30.0 |
| 3409 | 機能 | 終了 | セキュアな通信機能 | 30.0 |
| 3410 | 機能 | 終了 | 共有メモリ型データポート接続機能 | 30.0 |
| 3411 | 機能 | 終了 | 名前ベースのコンポーネント指定方法の実装 | 30.0 |
| 3412 | 機能 | 終了 | 名前付けポリシー機能の拡張 | 30.0 |
| 3413 | 機能 | 終了 | スレーブマネージャの名前によるグルーピング | 30.0 |
| 4032 | サポート | 終了 | ソースからインストールした時のヘッダのタイムスタンプ | |
| 4411 | サンプル | 担当 | SimpleService の仕様が他の言語と異なっている。 | |
| 3710 | 整備 | 終了 | build.xmlで設定しているバージョン番号の定義方法を変更する | |
| 3980 | 整備 | 終了 | C++のRTC作成用テンプレートのWindows用インストーラ作成機能を整備する | |
| 3993 | 整備 | 終了 | C++のRTC作成用テンプレートを整備する | |
| 3890 | 整備 | 終了 | CMakeLists.txtのfind_package(OpenRTM)のHINTSを外す | |
| 4133 | 整備 | 終了 | cmake_minimum_requiredを3.0.2とする | |
| 4434 | 整備 | 担当 | ComponentObserverConsumer モジュールをデフォルトで本体ライブラリに組み込む | |
| 4525 | 整備 | 解決 | configure.acのライブラリ検索パスに新たなパスを追加する | |
| 4135 | 整備 | 終了 | doxygen設定ファイルdoxyfile.inを整備する | |
| 3888 | 整備 | 終了 | FindOpenRTM.cmakeをリポジトリの管理から外す | |
| 4432 | 整備 | 解決 | Linux用OpenRTMConfig.cmakeのOPENRTM_INCLUDE_DIRSへrtm/extのパスを追加する | |
| 4527 | 整備 | 解決 | Linux用のrtcd_java, rtcprof_javaスクリプトでRTM_JAVA_ROOTを定義する | |
| 4173 | 整備 | 解決 | make installでビルドとインストールの実行時にdoxygen_classref.confでエラーになる | |
| 4443 | 整備 | 担当 | manager.refstring_pathの機能を削除する | |

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|---|------|
| 3785 | 整備 | 終了 | msm作成処理においてExtTriggerサンプルを起動するbatスクリプトを追加する | |
| 3786 | 整備 | 解決 | omniidl.exeでC++, PythonどちらのIDLコンパイルも可能となる環境を整える | |
| 3892 | 整備 | 終了 | openrtm-aist debパッケージのexampleとdocのインストール先を変更する | |
| 3893 | 整備 | 終了 | openrtm-aist rpmパッケージのexampleとdocのインストール先を変更する | |
| 3827 | 整備 | 終了 | OpenRTM-aist-Javaのdebパッケージ作成処理を追加する | |
| 3828 | 整備 | 終了 | OpenRTM-aist-Javaのrpmパッケージ作成処理を追加する | |
| 3891 | 整備 | 終了 | openrtm-aistのdebパッケージにexampleディレクトリが含まれないようにする | |
| 3834 | 整備 | 終了 | OpenRTPのrpmパッケージ作成動作を確認する | |
| 4552 | 整備 | 終了 | Python3.6の場合、Tkinterのimportは全て小文字で表記しないとエラーになる | |
| 4209 | 整備 | 終了 | Python3でsetup.pyを実行した場合にエラーが出る問題 | |
| 3992 | 整備 | 終了 | PythonのRTC作成用テンプレートを整備する | |
| 3982 | 整備 | 終了 | PythonのRTC用idlcompile.batでのパスとIDL設定を変更する | |
| 3833 | 整備 | 終了 | PythonのRTC用のidlcompile.batを生成している処理を修正する | |
| 3965 | 整備 | 終了 | PythonのRTC用のidlcompile.batを生成している処理を修正する 2 | |
| 4154 | 整備 | 終了 | Raspbian環境でcpackによるdebパッケージ作成に対応させる | |
| 4023 | 整備 | 終了 | RCP版RTSystemEditorのマージモジュールをEclipse4.4ベースで作成する | |
| 4556 | 整備 | 解決 | rpmパッケージへSSLTransportを追加する | |
| 3647 | 整備 | 終了 | rpmパッケージ名のアーキテクチャをi686にする | |
| 4444 | 整備 | 担当 | rtc.confのデフォルトファイルパス | |
| 4469 | 整備 | 解決 | rtc.confのログレベルの修正 | |
| 4272 | 整備 | 新規 | rtcprof_javaをexe化する | |
| 4170 | 整備 | 解決 | RTCテンプレートにmsi用のupgrade GUID設定を追加する | |
| 4153 | 整備 | 終了 | RTC生成時のrtc.confへ送信データのMAXサイズを定義する | |
| 4538 | 整備 | 解決 | RTSE上でマネジャー経由でOpenCVサンプルRTCを起動できるようにrtc.confを整備する | |
| 4427 | 整備 | 担当 | SDO サービスコンシューマの動作確認 | |
| 4486 | 整備 | 解決 | Windows環境でのビルド時、OpenSSLのバイナリを組込む処理を追加する | |
| 3709 | 整備 | 終了 | Windows用ソースパッケージにExtTriggerサンプルを追加する | |
| 4132 | 整備 | 終了 | インストールされているOpenRTM-aistのバージョン番号取得処理を見直す | |
| 4472 | 整備 | 新規 | コマンドラインオプション | |
| 4461 | 整備 | 解決 | コマンドラインオプションに関するコメントの修正する | |
| 4460 | 整備 | 終了 | コマンドラインオプションに関するコメントの修正する | |
| 4204 | 整備 | 解決 | テンプレートからCMakeポリシー「CMP0002」の定義を外す | |
| 4010 | 整備 | 終了 | データポート生成部分の修正 | |

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|--|------|
| 4134 | 整備 | 終了 | ドキュメント生成タブの「作成者・連絡先」情報がPROJECT_MAINTAINERにセットされるようにする | |
| 3039 | 整備 | 担当 | ネームサービスに登録する名前のフォーマットに関する改良 | |
| 3608 | 整備 | 新規 | ログにエスケープシーケンスが入るため見づらくなる | |
| 3715 | 整備 | 終了 | Windows用インストーラmsiを生成する処理を外す | |
| 4457 | 調査 | 終了 | InPortConnectorのバッファのサイズ、ポリシーが正常に設定されているかの確認 | |
| 4458 | 調査 | 終了 | InPortConnectorのバッファのサイズ、ポリシーが正常に設定されているかの確認 | |
| 3609 | 調査 | 新規 | Managerの再初期化 | |
| 3832 | 調査 | 終了 | OpenRTM-aist 1.2版がインストールされているLinux環境(64bit)でC++コンポーネントのcmake動作を確認する | |
| 4015 | 調査 | 解決 | RTM_VC_VERSIONを変えてもPATHに反映されないことがある(1.1.2) | |
| 4013 | 調査 | 終了 | RTSystemEditorRCPをWindowsで起動すると、Program Files以下のworkspaceに書き込めずに起動できないことがある。 | |
| 4156 | 調査 | 新規 | ダイレクトデータポート接続のデータ転送が遅い問題 | |
| 3643 | 調査 | 新規 | Java版の1.2新機能の動作確認 | 30.0 |